

命の母 A (医薬品 / 小林製薬株式会社)

使用上の注意

- 1.授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は、授乳を避けること
- 2.使用に際しては、添付文書をよく読むこと
- 3.直射日光のあたらない湿気の少ないところに密栓して保管すること

Q 1 「命の母 A」は、どのように更年期の不調に効果があるのですか？

更年期の不調は、ホルモンバランスの乱れや心的原因など色々な原因が複雑に絡み合って起こりますが、「命の母 A」は生薬の働きで血行を促し、ホルモン分泌器官の働きを助け、ホルモンバランスを調整したり、体を温めることで更年期の症状を改善します。

また更年期の女性に必要なビタミン・カルシウムなども総合的に配合されています。

Q 2 「命の母 A」はホルモン剤と同じ働きをするのですか？

「命の母 A」には、脳下垂体や卵巣、副腎などのホルモン分泌器官の働きを助けて、ホルモンバランスを調整する作用がありますが、ホルモン剤ではありません。

Q 3 月経前症候群 (PMS) にも効果がありますか？

PMS の症状である、頭痛、めまい、肩こり、にきび、ヒステリー、肌荒れ、便秘 に効果があります。

Q 4 血の道症とはなんですか？

血の道症とは、漢方医学で使われる言葉で月経時、更年期、産後などの女性に見られる頭痛、めまい、のぼせ、肩こり、疲労感、月経異常などの諸症状をいいます。

Q 5 どのように服用するのですか？

15 才以上の方の場合で、1 回 4 錠、1 日 3 回、毎食後に服用してください。

15 才未満の方は服用しないでください。尚、服用と服用の間には、充分時間を置いてください。

Q 6 どのくらい服用すると効果が現れますか？

1 日 1 回の服用では、効果を期待できません。用法用量をお守りいただき、最低でも 2 週間継続していただくことをお勧めします。

また女性の場合、生理周期等の影響を考え、出来れば 1~2 ヶ月は服用を続け、効果を確認して下さい。

「命の母 A」は、痛み止めのように一時的に効果を発揮する対処療法ではなく、体の中からじっくり改善するお薬です。

Q 7 閉経していますが服用してもいいですか？

A 閉経後の方も服用できます。症状に対する効果が期待できます。

Q 8 胃腸が弱いですが服用してもいいですか？

体調の様子を見ながら、服用してください。

A 下痢が続いたり、ひどくなったりする場合は服用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい。

Q 9 妊娠を希望しているが服用してもいいですか？

A 妊娠が判った時点で担当医の指示に従ってください。

Q 10 なぜ食後に服用するのですか？

生薬、漢方製剤は食前または食間の服用の場合が多いのですが、命の母 A に

A ついては、胃腸への負担を軽減するために食後の服用とし、十分効果があることを確認しています。

Q 11 授乳期間中に服用しても大丈夫でしょうか？

A 授乳中の方は本剤を服用しないで下さい。本剤を服用する場合は、授乳を避けて下さい。

Q 12 経血量が増えたり、生理が早く来ることがありますか？

「命の母 A」の働きのひとつとして、ホルモン分泌器官の働きを助けて、ホルモンバランスを調整する作用があります。そのため、ときに生理が予定より早くなったり、経血量が多くなったりすることがあります。

A また、個人差はありますが、更年期の女性で一度閉経した後でも、閉経後の期間がまだ短い方では、「命の母 A」の服用により再び生理が始まるケースも考えられます。これらの現象は病的なものではなく、ホルモンバランスの調整による一時的なものなので、服用を続けてもさしつかえありません。しかし、出血が長く続く場合は、他の原因による出血も考えられますので、医師又は薬剤師に相談してください。

Q 13 保管上の注意

直射日光のあたらない湿気の少ないところに密栓して保管して下さい。

A 「命の母 A」は糖衣を施し、容器を入れる箱を遮光性にするなど、成分が光によって分解しにくいよう工夫していますが、使用中は箱に入れて光を当てないようにご注意下さい。

Q 14 笹岡薬品の「命の母 A」と同じですか？

容器やパッケージなどが異なりますが、錠剤自体は笹岡薬品株式会社で販売

A されていたものと同じです。

製造販売元は笹岡薬品で、発売元が小林製薬となります。